

みんなやっあふるね

まちの光 第4回 高鍋町古墳を守る会

●昭和47年(1972)当時、坂本地区公民館長 山本 鬼六氏が発起人となり、地元住民を中心に『古墳祭』が行われたのが始まりです。

【活動の歴史】昭和47年(1972)～令和5年(2023)今年で51年を迎えます。

【歴代会長】：現在の会長は、第8代 金崎 均氏(左フォト)



- 初代 岩下 好氏
- 第2代 江藤 栄夫氏
- 第3代 弓削 健吉氏
- 第4代 矢野 敏朗氏
- 第5代 川野 照夫氏
- 第6代 津江 伊知美氏
- 第7代 山本 隆俊氏
- 第8代 金崎 均氏

【古墳とは?】古代この地で生活した高貴な方のお墓で、高鍋の祖先のお墓と言えます。

●皆さん！高鍋町内に何基の古墳があるかご存じですか？ 答えは……150基です。ここ持田古墳群には85基の古墳が遺っており、内訳は前方後円墳9基・帆立貝古墳1基・円墳75基となっています。古墳は4～6世紀にかけてつくられたもので、持田古墳群は昭和36年(1961)に国の史跡に指定されました。この貴重な史跡を遺すため、『高鍋町古墳を守る会』の皆さんはこれまで51年間古墳の景観を護り続けています。

皆さんも、『古代の風に触れる体験』に参加しませんか。

※持田古墳群・高鍋大師は令和3年7月16日、**日本遺産**に認定されました。認定NO.67

《来たれ若者！俺たちや待ちよ！！》



編集後記

10月後半となり、うだるような夏の暑さから、さすがに朝晩は肌寒く、秋の気配を感じます。

マスコミ報道によれば、北半球では観測史上最も高い気温を記録したそうです。温室効果ガスの排出が原因で、カナダでは山林火災、ヨーロッパやアジアでは大洪水が発生し多くの人命や財産が失われました。

幸いにも高鍋町では被害を免れています。こういった大災害が起こらないよう祈るしかありませんが、「天災は忘れた頃にやってくる」と言われます。

万一に備えた防災意識の向上に心掛けましょう。

(森 弘道記)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 兒玉秀人 委員 森崎英明
- 副委員長 桧原富子 委員 橋 重文
- 森 弘道
- 加藤秀文

(表紙写真) 高鍋町古墳を守る会の皆様方